

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人 法村友井バレエ団
公演団体名	一般社団法人 法村友井バレエ団

内容
<p>解説指導者1名と指導アシスタント5名の6名編成で、会場には、約10m×5mのスペースにバレエマットを敷き、レッスンの為のバーを設置します。ワークショップの参加者の中から公演の時に参加(出演)して頂く人数は24名程(レッスン・マイム演技男女各8名、小品出演者男女各4名)を選んで頂く事を前提として実施します。</p> <p>ワークショップ会場としては体育館等のダンスが出来るスペースで、運動が出来る服装を着用下さい。公演への参加が前提で、集中力の問題から小学3年生以上を対象とします。</p> <p>前半の時間は、バレエ作品の鑑賞のポイントや、バレエの基本姿勢や基本的なマイムなどを体験しながら実施します。参加生徒の皆さんにもバーの代わりとなる背もたれの付いた椅子などを利用してレッスン体験を行います。</p> <p>後半は、公演で参加していただく作品の練習です。(参加学年や技量により演目を調整いたします) グループに分かれてそれぞれに指導者が振付を指導していきます。最後に質問コーナーなどを設けて親睦をはかります。</p>

タイムスケジュール(標準)
<p>●午前実施の場合・・・※8時半頃、入り・搬入セッティング、※9時すぎ頃 WS 打合せと校内下見、※10時半頃(各学校の3時限目) WS 開始、休憩を挟んで4時限目まで。※終了後搬出、公演に向けての確認。</p> <p>●午後実施の場合・・・10時半頃、入り・搬入セッティング、※11時すぎ頃 WS 打合せと校内下見、※13時半頃(各学校の5時限目) WS 開始、休憩を挟んで6時限目まで。※終了後搬出、公演に向けての確認。</p>

派遣者数
6名(主指導者1名、補助指導者5名)

学校における事前指導
バレエ用語のプリントを配布します。また、ワークショップで学んだ演技の復習用としてのDVDをお渡しする予定です。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人 法村友井バレエ団
公演団体名	一般社団法人 法村友井バレエ団

演目
バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 第一部 ● 「バレエを学んで体験しよう」(約45分) バレエレッスン、チャレンジ・バレエ小品紹介、作品のマイムを学ぶ 第二部 ● 「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 作曲:チャイコフスキー、原振付:プティパ/改訂振付:法村友井バレエ団 (約45分) 公演時間(90分)

派遣者数
出演者:31名 スタッフ:20名 合計:51名

タイムスケジュール(標準)
●スタッフ入り・仕込み:8:00～10:00、●キャスト入り 9:20頃、●稽古 10:00～12:00、(昼食及びメイク等準備:12:00～13:30)、●開場 13:30、●開演(第1部)13:45～14:30、(休憩 14:30～14:45(第2部))14:45～15:30、●撤去 15:40～17:15、●退出 17:30

実施校への協力依頼人員
生徒さんの入場・退出など誘導等。 搬入・搬出経路が離れていたりする場合は用具の運搬補助をお願いします。

演目解説

●第一部では、「バレエを学び体験しよう」と題して、バレエの基本にあたるレッスンやマイムを紹介します。

言葉を使わないクラシックバレエの作品にとってマイムの表現には作品のお話を伝える重要な役割があります。ワークショップで学んだマイムの紹介を生徒達と一緒に紹介し、生徒の皆さんにも実演して頂きます。

そして、バレエの見所が分かりやすい小品（4作予定）を紹介します。

その作品のひとつには生徒さんが出演して、団員と一緒に作品を発表する実演を行います。

●第二部では、クラシックバレエ作品として有名なチャイコフスキーの「くるみ割り人形」を限られた時間で楽しんで頂けるように「くるみ割り人形」スペシャル（クララの夢）と題して公演いたします。

主人公のクララがクリスマスの夜に体験する夢の世界を表現した物語のバレエ作品です。プロバレエ団の身体表現に加え、舞台装置、照明を施し、学校内で舞台芸術を楽しんで頂ける内容のプログラムをお届けします。

学校の体芸術観賞作品としてバレエ芸術の重要性や教育現場であります学校での公演を考慮し、低学年から高学年まで楽しめる作品を抜粋し、プロバレエ団の公演として恥じない表現、演出をお届けすることにより、芸術鑑賞の重要性や舞台芸術の普及に努めたいと考えています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

本物のバレエの技を表現するには、年数をかけて基本と応用の反復練習で身につけなくてはなりません。そんな中で、親しみがあって舞台の体験をしていただきやすい作品を選びました。

生徒さんの集中力の観点からワークショップにおいて参加学年を小学3年生以上として、限られた時間でスムーズに指導ができるように、ワークショップ指導者人数を6名で行います。

振付の復習のためのDVDを用意し、ワークショップ後もそれぞれが練習、確認ができるようにします。

公演の時は、参加生徒さんも舞台メイクと舞台衣装を準備して出演していただきます。

また、公演当日は学校の体育館が劇場のような空間になるように舞台装置や照明演出をほどこします。

児童生徒とのふれあい

バレエは言葉を使わない総合舞台芸術です。バレエ演目の中で使われるマイムを学びます。公演で参加頂く生徒さんには舞台上で表現する心構えも体験していただけるように、舞台メイクをして舞台衣装を着て頂きます。

ダンサー達と一緒に舞台上に立ち演技することで、舞台芸術を作る一体感を体感して頂きます。

当日、記念写真を取ります。また公演後に感想文を書いて頂いて（これは学校側での対応として）技術習得の重要性や舞台芸術への興味を持って頂きたいと考えています。

